

津軽藩発祥の地で御城印と御朱印をめぐる（西津軽郡鰺ヶ沢町）



大浦光信公は、種里城を居城に周辺豪族との合戦に勝利しながら、津軽平野へと進出し、津軽統一の礎をつくりました。5代目の大浦為信（津軽為信）が津軽統一を果たしたことから、種里城跡は津軽癡祥の地とされています。

「光信公の館（種里城跡）」

開館日5月1日～10月31日の金曜日・土曜日・日曜日。開館時間は5/1～8/31まで9時～17時 9/1～10/31まで9時～16時30分 入館料は一般300円、高校生220円、小・中学生150円 御城印300円
青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字種里町字大柳

A photograph showing a stone wall made of irregular stones, likely a part of the castle ruins mentioned in the text.

鰺ヶ沢町は、津軽藩発祥の地とされています。津軽藩始祖とされる武将、大浦光信公が岩手県久慈から鰺ヶ沢町種里に入部したのは延徳3年(1491年)のことです。今年で、光信公入部から530年目になるそうです。光信公の居城であった種里城跡では現在、「光信公の館」で鰺ヶ沢の歴史に触れることが出来るほか、城跡は史跡公園として探索することができるようになっています。

前庭には、津軽氏の家紋にちなんで牡丹が植樹されており、毎年5月～6月ごろ見ごろを迎えます。さらに、秋の紅葉もとても綺麗でオススメです。

全国のお城で広まっている「御城印」を光信公の館でいただくことが出来ます。是非来城の記念にいかがですか？



前庭にある大浦光信公像、遺言から鎧兜の姿で埋葬されたと伝えられています。

全国のお城で広まっている「御城印」を光信公の館でいただくことが出来ます。是非来城の記念にいかがですか？

また、鰺ヶ沢駅前にある神社「舞戸正八幡宮」もオススメです。地元に住んでいると夏の宵宮や初詣など生活や気持ちに密着しています。秋の景色も素敵です。駅の近く（パルの隣！です）なので、鰺ヶ沢町に来たときにも思い出したら寄つてみて下さいね♪

ブルームの「御朱印」も頂けます。とても素敵です。

史跡公園として探索することができるようになっています。前庭には、津軽氏の家紋にちなんで牡丹が植樹されており、毎年5月～6月ごろの見ごろを迎めます。さらに、秋の紅葉もとても綺麗でオススメです。

まいとしょうはちまんぐう
「舞戸正八幡宮」
津軽藩七代藩主津軽
言寧公により、赤石
組(現在の鰺ヶ沢町・
架浦町)の鎮守祈願
所となっています。
境内には、封じ込め
た厄を払う「封塞厄
難ひょうたん」がつ
るされています。



◆新型コロナウイルスへの対策に伴い、急な休館などがござります。お出かけの際は十分ご注意ください！

A yellow circular portrait of a woman holding a baby. A blue pencil is shown writing over the portrait, with the text "私と生協" (Myself and the Co-op) written in red and blue.

八戸地域広報委員長
上久保裕子さん
(八戸市)

りになり申し訳なかつたですね。

その後、一念発起し運転免許を取得した頃、類家に店舗ができる事で班を解散。以後はずっと店舗で買い物をしてきました。7年前になりますが、生協で活動している会社の同僚に押し花教室に誘われ、初めて一階に上りました。二階でさまざまな教室が開かれて事を聞き、「こじぞとばかりに西隣へお願ひして仲間になつてもら、い共同購入を始めました。私はおかげさまで大いに助かつたのですが、我が家のお注文が一番多いのに、仕分けや管理を西隣に任せき

生協を利用しながら、生協の仕組みも、いろいろな委員会活動もまったく知らないままでした。委員会に入つて3年。まだよく分からずお役に立てないまま申し訳なく思いながら、新たな出会いも嬉しく、みなさんに教えていただきながら、これからも生協を応援していくたらいなと思います。

月1回の押し花はなかなか楽しいことを見つかりました。そして定年退職した頃、同じ人に広報委員会に誘われ、何も分からぬまま参加してしまいました。長い間

A circular photo of a woman holding a baby.

A drawing of three yellow flowers with green leaves.

私は、生協の組合員になつて32年になります。食材の配達が大変便利で仕事と家事の両立に一役買ってくれていました。今は、家業を担つている生活ですが、少しずつの積み立ての樂しみや沖縄フェアなど各地の名品を注文したりすることを楽しみにしています。いつも配達ありがとうございます。毎日を喜んで生活したいなうが、日々の心情です。しかし、喜んで生活するつて、どんなことかなう?とも考えていました。そんな時、「川内公民館でクラフトテープを使って、籠づくりがあるので来ませんか?」とお誘いを受けま

した。もの作りが好きなので、行ってみることにしました。10人ほど集まられて、わいわい、手ほどきを受けて、あつという間の2時間でした。出来上がった「My かご」を見ながら、試食会。皆さんで共有した作品作りの時間が、あつたからこそ、わいわい♪と、にぎやかに時間を過ごすことができたのだと思いました。その時の集まりが「縁で、川内町でのこくぶ委員会の結成が叶つたのです」が、これから活動を始めようといった矢先の、感染症の拡大という大変な事態となつてしましました。まだ活動はできていませんが、「はばたき」に載せるメンバー写真を撮るために久しぶりに集まりました。互いに、元気な様子を伺うことができ、お話ができる喜びを感じました。特に、コロナ禍においての自粛生活が続く中、会えるということが私たちにつながる安心感をもたらせるのだなど実感しました。会えることが喜ん



で生活することでもあるのだと細やかに感じながら、会えることを大切にして行けたらなと思います。そして、徐々に活動の内容も広がりを作つていけたらと思います。これから始まる、まだまだひよっこの私たちですが、どうぞよろしくお願いたします。